



ボーイスカウト川崎地区賛助会は1984年に川崎地区協議会の財政支援を目的として、川崎地区の有志により設立されました。この会報「ブーメラン」は当会の歴史と活動内容を広く皆様へご紹介する目的で発行しているものです。また、賛助会の運営趣旨にご賛同いただける方へのご入会促進メッセージでもあります。

この機会に是非ご入会を検討いただければ幸いです。

## 【特集 川崎地区創立 70 周年を想う】

### ■令和2年度のご挨拶（賛助会が果たしてきた役割）

会長 木村 耕三

冒頭に喜ばしいことが御座いましたので報告させていただきます。それは3月の日本連盟への「登録業務」に於きまして、川崎地区の登録人数が前年より16名増加したことをごさいます。全国的にスカウト登録人数が減少している中で、地区として増加していることは称賛に値すると存じます。

これは川崎地区が数年前から「組織拡張」に力を入れ、募集チラシの配布先の拡大、11ヶ団に対し組織拡張勉強会の開催などの努力の賜物と大いに評価できると思います。賛助会はその役割から、川崎地区に対し令和元年度は60万円の賛助を行いました。賛助会の財政支援が川崎地区の充実したスカウト活動に寄与し、またスカウト人口の増加にも繋がり、賛助会の役割を果たしていることに少々満足感を覚えております。これも会員の皆様から賛助金のご厚意を頂いたからこそと紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。



年初頃から新型コロナウイルスの発生が報道されるようになり、2月末にはボーイスカウト日本連盟から活動の自粛が通達されました。また5月6日まで緊急事態宣言により活動を縮小せざるを得ない状況にあります。ボーイスカウト活動はこの様な時こそ、室内プログラムを中心に工夫を凝らしたプログラムを考案し、「スカウトファースト」の精神で子供たちの運動不足やストレス解放に最善を尽くすことが役割と痛感している今日この頃でございます。

結びに本年度も会員の方々のご理解と御協力を衷心よりお願い申し上げる次第で御座います。



### ■川崎地区賛助会 神奈川連盟 70 周年に感謝状贈呈

日本ボーイスカウト神奈川連盟  
副理事長 濱田 雅弘

日本ボーイスカウト神奈川連盟が創立70周年を迎えました。川崎地区賛助会は30年以上にわたり川崎地区の活動を財政面で支えた功績が認められ、本年1月に県連より感謝状が贈呈されたこと祝福すると同時に同じ地区の一員として、敬意と謝意を表します。

ボーイスカウト運動の秀でた事項は言うまでも有りませんが、何より私たちの活動を支えるものは関係者の情熱と財政的な基盤であると考えております。

この度の神奈川連盟の表彰は、川崎地区賛助会が1984年に設立されて以来変わらずに持つ、進取の精神と「先見性」に注目した結果であり、他の地区に類を

みない仕組み作りが評価されたものと言えるでしょう。

持続可能な行動が求められる現代において、これだけの長い時間、安定した資金援助を川崎地区に実行しながら、確実に組織を発展させてきた川崎地区賛助会の先人の皆様、現在の会員の皆様に、更なる川崎地区活動の充実とスカウティングの活性化を目指す姿をしっかりとお見せ出来るよう努力して頂きたいと強く念じております。

神奈川連盟の運営に絶大なる協力を頂く川崎地区に賛助会がある限り、私たちもまた前進できること、そして時空を超えて賛助会の設立に関わった方々に未来を見据える「推理」と「観察」の力を感じ、改めて感謝したいと考えます。今までも、これからも、ありがとうございます。

## ■スカウトの国際交流 ボルチモア隊 来日1年延期される 国際委員長 西角 恵輔

スカウト活動において、国際交流は大きな教育的効果があると確信しております。同じ理念のもと、コミュニケーション能力を磨き、未知の体験から自発的な活動を引き出すことができるからです。野外活動という、国も言葉も関係ないアクティビティがそれを助長するのも間違いありません。

そのような活動を未長く成功裏に進めるためには、安心・安全が欠かせません。昨今未知のウイルスが、その確保に対して大きな脅威を与えており、残念ながら今年度の事業は延期になりました。

ボルチモアスカウト派遣事業は、何度かの障害を乗り越えながら、30年以上続いて参りました。今回もこの脅威を乗り越えて、十分に安心・安全を確保しながら、スカウトや携わる全ての人に、国際交流の素晴らしさを伝えてゆく所存でございます。賛助会の皆様におきましては、今後とも何卒ご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## ■Baltimore Area Council が表彰される 副地区委員長 境 紳隆

県連発足70周年に際し、神奈川連盟よりBaltimore Area Council に対し感謝状が授与されました。

令和2年1月19日(土) 横浜市中区のワークピアに於いて開催された神奈川連盟70周年記念式典において、ボーイスカウトアメリカ連盟ボルチモア地区協議会に対し、感謝状が授与されました。これは、ボルチモア地区協議会が川崎地区協議会と30年余に亘りスカウト交歓事業を継続し、多くのスカウトに貴重な異文化体験を提供してきたことに対し、70周年に際し県連盟としても感謝の意を表したもので



です。

本事業は川崎地区のスカウトだけが参加できるものではありませんが、県連主催による「海外派遣報告会」にて毎年その報告が行われており、多くの他地区関係者にも知られ、高く評価されています。「感謝状」は次回ボルチモア隊来川の際に川崎地区から手交する予定です。

## ■賛助事業の御紹介

スカウト支援委員会  
副委員長 井上 景

### ●ビーバーまつり 2018

毎年6月末に行われる「ビーバーまつり」。川崎市内のビーバースカウトが集まるイベントです。全体を4チームに分けゲームを展開。楽しい活動となっていますが、2019年度は会場の都合で残念ながら雨天中止となりました。

### ●川崎地区ラリー

川崎地区のスカウトたちが集まる唯一のイベント「川崎地区ラリー」。2019年度は9月22日(日)、平和公園(中原区)で行われました。最後に記念式典が開かれ、スカウトの表彰などが行われました。

### ●白梅隊

毎年行われているボーイ隊の集合訓練会の「白梅隊」。近年はカリキュラムの変更に伴い、1泊の移動野営を中心に行っています。2019年度の「第48期白梅隊」は10月13~14日で実施する予定でしたが台風19号の影響で11月に延期。コースも変更して実施しました。





## ● ゴールデン・アックス・

## トレーニング・コース (GATC)

GATC は隔年で行われるベンチャースカウトの集合訓練。2019年度の「GATC川崎26期」は2019年9月から、スカウト約20名で活動を展開中。台風や新型コロナウイルスの影響を受けつつも、外部研修の「プロジェクトアドベンチャー」、箱根旧街道を歩く「オーバーナイトハイキング」、大型の橋づくり「パイオニアリング」などを実施してきました。



## 【特別寄稿】

今回は川崎市とのスカウト交流に初期から Baltimore 協議会のメンバーとして多大なご協力をいただいている Rutherford 家の皆さんとの再会が出来ましたのでご紹介したいと思います。

特にスカウトとして参加していた Matt Rutherford 大佐が米国海軍厚木基地に司令官の一人として着任されていることから思い出を寄稿いただきました。

## Reflections on Baltimore-Kawasaki Scout Exchange Captain Matt Rutherford U.S. Navy, Commodore, Task Force 72



私は、生まれながらにしてスカウト活動の中にいたと言っても過言ではないでしょう。私の父、ハワード・ラザフォード Howard Rutherford) はイーグルスカウトを受賞しており、私の兄弟や私がカブ年齢に達する以前から既に、ボルチモア

アの原隊でリーダーを務めていました。

\*\*\*中略\*\*\*

兄のアンドリューは、我が家で初めて国際的なスカウト交流活動に参加しました。兄はボルチモアと川崎のスカウト交流活動を知り、幸運にも1988年に訪日派遣隊に選ばれました。兄は1989年に受け入れ側のホストのメンバーとなり、私もその時にひと夏のさまざまな交流プログラムを体験することができたのです。

私もその翌1990年の夏に川崎への派遣隊に選ばれ、訪日することができました。これは、私にとって初めての海外旅行でした。それ以前の派遣隊同様、基本的な日本語のフレーズを学び、文化的規範や習慣を学び、箸の使い方を学び、訪日に備えました。

その夏は本当に素晴らしかった！日本での滞在中、妙高で日本ジャンボリーに参加し、富士山に登り、ホストファミリー（その前の訪日時に私の兄がステイした、同じホストファミリーです）と一緒にとても楽しい時間を過ごすことができました。

スカウト活動は、異なる文化と国籍のギャップを埋めるための「共通の言語」や「経験」を作り出すのに役立ちました。翌1991年、私はボルチモアを訪れた川崎からの派遣隊へのホストとなり、さらに弟のポールも同様に日本を訪問し、そしてその後日本からのスカウトをホストするという経験を楽しむことができました。

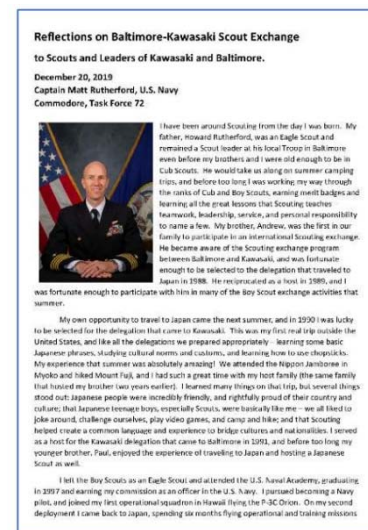
\*\*\*中略\*\*\*

私はイーグルスカウトを獲得したのちにスカウト活動を離れて海軍士官学校（大学）に入学、1997年の卒業後に海軍士官を拝命しました。

そして2019年6月、私はアメリカ海軍の大佐として日本に戻ってきました。厚木基地で第72任務部隊の前任大佐に就任することになったのです。今回は家族を連れての配属です！

ここでは、西太平洋全域の海上哨戒機部隊（米国海軍P-3、P-8、EP-3、およびMQ-4哨戒機）を統括

しています。私も家族も、日本に来ることができてうれしく思います。日本の印象は最初の訪日時から何も変わっていません。素晴らしい国であり、素晴らしい文化があり、人々はフレンドリーです。こうしてここにいることができ、私たちは本当に幸運なのだと思います。



## ■ Rutherford 家との再会 賛助会 理事 長谷川博之

昨年11月、とてもうれしいことがありました。

それは第6回（1990年）の Baltimore 派遣隊長で翌年の受け入れ側隊長であり、このプログラムの長年にわたる功労者である Howard Rutherford 夫妻とそのメンバーとして当時スカウトで参加した Matthew Rutherford 氏（当時 Eagle Scout）と再会することが出来たからです。

Rutherford 夫妻の来日目的は昨年の6月に米国海軍厚木基地に司令官として着任した Matt 君と家族に会い、日本の旅行を楽しむこと、そして川崎の友人たちと会いたいと言うことでした。

そこで当時から関わっている川崎地区の関係者有志（全員賛助会員）により歓迎会を開催しました。



会ったとたんに昔の思い出話が双方で炸裂、各自持ってきた写真を見せ合う、まるで乾杯をする状態ではないのです。笑いあり、仲間であった故人を偲ぶ思い出話し・・・約30年前に試行錯誤していた時代を思い出し、いまだに継続している友情に感謝しました。そして、来年はBaltimoreで同窓会をしようとして再会を約束し解散しました。



しかし、こここのところのコロナウイルスの影響でその夢は一年先に伸びそうですが、この約束を果たすべく企画をしたいと思っています。

#### ■賛助会員の分布（2020年4月末日現在）

・準会員：11名

- ・個人会員：72名
- ・団体会員：14団体
- ・法人会員：10社
- ・法人会員：13社

#### ■理事会報告

第196回 2020年1月25日（土）総合自治会館

- (1) 川崎地区活動関連報告
- (2) ブーメラン8号の発送について
- (3) 2019年度賛助金関連
- (4) その他

第197回 2020年3月8日（日）予定日

新型コロナウイルスの為、メールによる書面会議。

第198回 2020年4月19日（日）予定日

新型コロナウイルスの為、メールによる書面会議。

#### ■ニューイヤーパーティー報告

2020.1.25 川崎総合自治会館において川崎地区協議会・賛助会の共催で男性72名、女性18名合計90名の参加者にて行われた。

#### ■会員募集

賛助会は随時会員を募集しております。青少年育成にご理解とご支援をいただける方の参加を歓迎いたします。

◆お問い合わせ：賛助会事務局：鈴木

・E-mail：sanjokai@scout-kawasaki.org

・ホームページ：

<http://www.scout-kawasaki.org/sanjokai/index.html>

日本ボーイスカウト川崎地区賛助

検索

#### ●編集後記

うれしいことは、今回のBaltimore-Kawasakiスカウト交流に関する記事、いつまでも友情を継続する交流は活きている。悲しいことは、コロナウイルスの猛威により地球規模で前代未聞の被害が拡大していること。いつかはこの惨事は終息するのだろうが、笑って友と再会できる時が来ることを祈りたい（H）

#### 【法人会員のご紹介】

順不同・敬称略

富士高圧ガス工業株式会社 神奈川県川崎市鋼管通 代表 谷屋 利隆	株式会社 テタケ 神奈川県川崎市中原区新城 代表 出竹 惇文	株式会社 沼崎商会 東京都世田谷区尾山台 代表 沼崎 匡一
日本エード株式会社 東京都中央区日本橋本石町 代表 小清水 克臣	株式会社 上作商店 神奈川県川崎市高津区向ヶ丘 代表 手塚 功	株式会社 清水製作所 山梨県北杜市長坂町 代表 清水 鐵朗
ドリームキッズさぎぬまナーサリー 神奈川県川崎市宮前区鷺沼 代表 富山 純江	岡田信司税理士事務所 埼玉県鶴ヶ島市 代表 岡田 信司	株式会社 杉山産業 静岡県焼津市坂本 代表 杉山 晴夫
特定非営利法人 子育てを応援する会 神奈川県川崎市高津区末長 代表 飯野 道子	コパロン株式会社 宮城県仙台市宮城野区扇町 代表 長澤 清	呉エンジニアリング 神奈川県川崎市中原区中丸子 代表 野沢 義幸
株式会社 保育所ひまわり 神奈川県川崎市幸区小倉 代表 耳田 英恵	